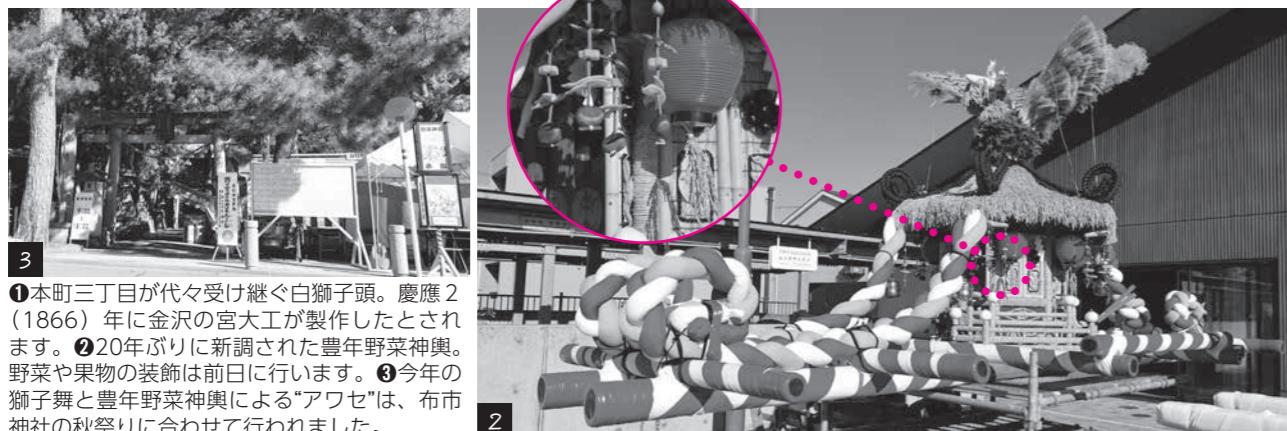




市指定無形 民俗文化財

獅子舞と豊年野菜神輿



デジタル資料館で
過去の映像が見られます▼



こっちの文化財も
チェック!

市勢広報特別番組 野々市の虫送り

市公式YouTubeで
11月2日(土)から配信開始!

令和6年7月1日に市指定無形民俗文化財に指定された富奥・御経塚・押野の虫送り。それを記念し、虫送りの様子を伝える特別番組を作成しました。

9月末~11月初旬までときめきQハイビジョン(CATV・009ch)で放送し、11月2日(土)からは市公式YouTubeで配信します。

市公式 YouTube
はこちら▶



今年の本町地区の
様子は4,5ページ



令和5年7月1日に市指定無形民俗文化財となつた市内5地区的獅子舞(本町一丁目、本町三丁目、本町四丁目、栗田、中林)と豊年野菜神輿(本町二丁目)。地域の民俗芸能を今に伝える行事として、これからも永く継承していくことが期待されます。そんな獅子舞と豊年野菜神輿を広く知つてもらうため、今月の特集では、その歴史や今年の“アワセ”的様子などを紹介します。

伝統の演舞獅子舞

獅子舞は、アジアに見られる文化で、8世紀ごろに中国から伝来し、次第に日本的な要素が加わつて今日に至る所です。現在も日本全国で見られる民俗芸能ですが、その芸態や実施時期は地域によって異なります。

野々市の獅子舞は、巨大な胴体に蚊帳(布)をかぶせる“加賀の大獅子”に分類されます。10月の祭礼時に行われ、演舞はいずれも棒振りが獅子を退治する「獅子殺し」を演じます。

棒振りの型は武術を基本としていますが、その演目や獅子の所作は地区ごとに異なります。

豊年野菜神輿

豊年野菜神輿は、本町二丁目において、布市神社の秋祭りに行われる行事です。戦時中などには中断を繰り返しましたが、昭和50年に地元の有志が復活させました。みこしには、ニンジン、タマネギ、クリ、シシトウ、レンコンなどの野菜や果物が装飾され、みこしの屋根は稻わら、その頂にはススキなどで製作された鳳凰(ほうおう)が載せられます。野菜を装飾するみこしは、全国でも大変珍しいものです。みこしは地元の老若男女によつて担がれ、神主やヤヒコババ、巫女に扮した子どもと一緒に町内を練り歩いて秋祭りを盛り上げます。

獅子舞と神輿の“アワセ”

本町地区の獅子舞や野菜神輿の巡行が同日に開催され、それぞれが路上などで出くわすと“アワセ”と呼ばれる共演を行います。獅子舞同士の場合は互いに相手方の獅子を討取り、野菜神輿と獅子舞が出会った場合は獅子の演舞に合わせてみこしが場を盛り上げます。

野々市の獅子舞の用語

ししごしら 獅子頭

獅子の頭となる部分。木製(主に桐材)で、木目を見せるもの、皮を張るもの、漆を塗るものなどさまざま。頭を持つ人のことをカシラモチ^{*}と呼ぶ。



かや 蚊帳

獅子の胴体にかぶせる布のこと。一般的には胴幕と呼ぶが、特に加賀の大獅子にかぶせる巨大な胴幕を蚊帳と呼ぶ。ほとんどの蚊帳は牡丹(ぼたん)に巻き毛の模様。胴体の後部には、朱色に染めた麻を竹竿で垂らした“尾”が付く。

ぼうふ 棒振り

獅子に立ち向かう剣士のこと。子どもや大人^{*}が演じ、夏ごろから棒振りの練習を行うところが多い。武具は棒・太刀・なぎなたを中心とし、演者も1人から3人^{*}の組み合わせがある。

けんたいまえ 懸帯前

カシラモチを中心に、獅子側に立つ若衆。“懸帯”という帯を腰に提げる。帯には栗田・中林は「若」、本町地区は旧町名にちなみ、一丁目は「荒」、三丁目は「中」、四丁目は「西」の一文字を刺しゅう。

はやし お囃子

演舞中や道中に流れる曲のこと。お囃子を演奏する囃子方を結成している地区もある。笛、太鼓、三味線を用いる。



本町一丁目の獅子舞

保持団体
本町一丁目青年会



本町三丁目の獅子舞

保持団体
本町三丁目獅子舞保存会



本町四丁目の獅子舞

保持団体
本町四丁目青年会



栗田の獅子舞

保持団体
栗田連合町会



中林の獅子舞

保持団体
中林獅子舞保存会



豊年野菜神輿

保持団体
野々市豊年野菜神輿保存会



※地区により異なります。

技と思ひを守り継ぐ



1・3 棒振りと相対する獅子。周囲を取り巻く若衆がはやし立てます。
2 刀を掲げて切りかかる少年剣士たち。野菜神輿と一緒に町内を練り歩きました。4・5 道中を盛り上げるお囃子。6 カミーノの駐車場いっぱいに形作られた人の輪。ここで“アワセ”が披露されました。7 野菜神輿は大小2種類。大きなものは男性、小さなものは女性や子どもたちが担ぎました。8 獅子に立ち向かう棒振り。9 巨大な獅子の移動は数人がかり。



5年ぶりの
4町“アワセ”
10月13日(日)、秋祭りに合わせて、本町の獅子舞（本町一丁目・三丁目・四丁目）と豊年野菜神輿（本町二丁目）が早朝から本町の町内を巡回しました。そして午後1時、3組の獅子と野菜神輿がにぎわいの里のいちカミニに集結。棒振りやお囃子などの人々が一同に会し、その周囲を大勢の見物客が取り囲みました。徐々に熱気が高まります。「トザイトーザイ！」落ち着かない会場の雰囲気を切り裂く口上を口火に、いよいよ5年ぶりの4町“アワセ”が始まりました。それぞの団体が受け継ぐ伝統の演舞が矢継ぎ早に行われ、棒振りや獅子舞の動きの違いが如実に見て取れます。威勢のいい掛け声とともに披露される演舞に、観客からは大きな歓声と割れんばかりの拍手が巻き起こっていました。